

秋田市上下水道事業基本計画（素案）の概要について

1 基本計画の位置づけ

- (1) 上位計画である「第14次秋田市総合計画」が掲げる将来都市像「緑あふれる環境を備えた快適なまち」および「健康で安全安心に暮らせるまち」を実現するための個別計画
- (2) 本計画は、秋田市上下水道事業の目指すべき将来像(基本理念)を描き、基本理念の実現に向けた「経営の基本方針」から具体的施策までを体系化し、今後、事業を進めるうえでの方向性を示すもの
- (3) 国土交通省の「新水道ビジョン」「新下水道ビジョン」、総務省の「経営戦略」の策定方針を踏まえた計画

2 計画期間

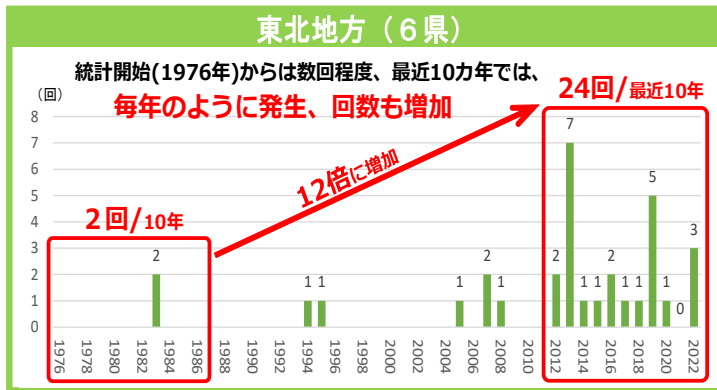
- (1) 計画期間は、令和7年度から11年度までの5年間
- (2) 本計画は、中長期的な視点に立った実効性のある計画とするため、10年先となる16年度の目標達成を見据え策定

3 主な課題

項目	課題
①人口と水需要の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減に伴う水需要の減少 ・施設利用率の低下などに伴う非効率化
②公共用水域の水質保全	<ul style="list-style-type: none"> ・水洗化の促進 ・下水道未普及地域の解消
③施設	<ul style="list-style-type: none"> ・更新需要の増大 ・主力浄水場である仁井田浄水場の老朽化 ・下水道管路の老朽化に伴う道路陥没や流下機能の低下
④経営	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材等の高騰に伴う浄水場等の運転費用の増大 ・大規模事業の本格化等に伴う更新費用の増大 ・水道料金や下水道使用料収入の減少
⑤お客さまサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる利便性の向上 ・料金、使用料の早期収納と負担の公平性確保 ・お客さまニーズの把握と情報提供
⑥災害対策と危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設および管路の耐震性能の不足 ・浸水被害への備え ・災害に備えた危機管理
⑦環境保全に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー対策や資源の循環利用 ・水道の有効率、有収率の向上

4 改定の主なポイント

令和6年1月に発生した能登半島地震や本市における令和5年7月豪雨など、全国的に自然災害が激甚化・頻発化しており、耐震化や浸水対策など災害に強い上下水道の整備が急務となっている。



【東北地方の短時間強雨(80mm/h)の発生状況】

【R5. 7. 15 秋田駅東口】



【R5. 7. 15 広面汚水中継ポンプ場】



【R5. 7. 15 明田地下道】

また、施設老朽化の進行に伴い機能停止や事故発生のリスクが高まるなか、物価上昇により維持管理費も高騰するなど、現計画策定時に比べ、上下水道事業を取り巻く環境は一層厳しさを増している。



【水道管の漏水状況】



【老朽化した下水道管による道路陥没】

今後とも、安全な水道水の安定供給と快適な生活環境を維持するため、今回の上下水道事業基本計画の改定は不可欠であり、改定に当たっては、内水氾濫対策による流域治水の推進、浄水場やポンプ場など基幹施設の耐震化・耐水化、急増する老朽化施設の計画的・効率的な改築更新など、インフラの災害対策と老朽化対策に重点を置いた取組・事業を盛り込んだ。

(1) 流域治水の推進

令和5年7月豪雨を受け、国・県とともに策定した「水災害対策プロジェクト」に基づき、下水道の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートなど、流域治水の根幹の1つである「内水氾濫対策」を重点的に推進

(2) 仁井田浄水場等整備事業の推進

老朽化の著しい仁井田浄水場について、取水導水施設の新設、粉末活性炭設備の導入、施設の耐震化、浸水対策のための盛土、自家用発電機の整備など、令和9年度内の供用開始に向け、全面更新事業を推進

(3) DXによる業務の効率化

ドローン、衛星画像解析による漏水探知やマンホールポンプ遠隔監視システムなど、DXの推進により維持管理業務を効率化

(4) 環境負荷の低減

仁井田浄水場等整備事業の実施に当たり、省エネ設備への更新、太陽光発電の導入、浄水発生土の天日乾燥の継続などにより、環境負荷を低減

(5) 健全経営の持続

浄水場改築や雨水ポンプ場新設、上下水道管の耐震化など、上下水道サービスの維持に必要なインフラ整備を推進するため、事業の優先度を考慮した事業量の平準化や財源の確保などにより、健全経営を持続



【フラップゲート施工例：太平川（広面字谷内佐渡）】



【R6.11 仁井田浄水場取水導水施設の新設工事】

5 基本理念および経営の基本方針

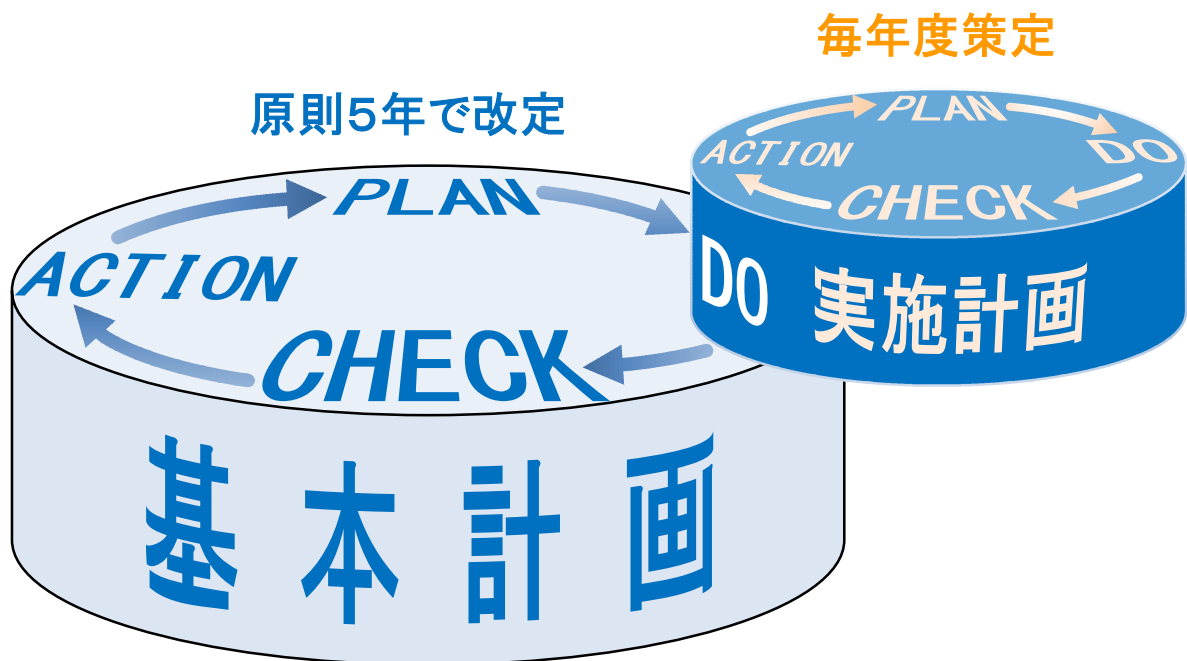
基本理念および基本理念の実現に向けた経営の基本方針は、現計画を継承

基本理念 いつでも いつまでも 秋田市の上下水道	経営の基本方針	具体的施策	主な取組・事業
	1 安全な水道水の供給	(1) 原水の安定性確保	水質検査機器整備事業 取水導水施設点検管理業務
		(2) 適切な水質管理体制の維持	水道G L Pの認定維持 水安全計画の運用
		(3) 蛇口から出る水の安全性確保	貯水槽水道の適切な管理
	2 快適な生活空間の維持向上	(1) 公共用水域の水質保全	水洗化の促進 下水処理場施設整備事業 農業集落排水処理施設整備事業
		(2) 未普及地域の解消	公共下水道整備事業 未整備路線の解消
	3 災害に強い 上下水道の構築 ※「具体的施策」の 順序の変更	(1) 流域治水の推進 ※「浸水対策の推進」から名称変更	浸水対策下水道事業 内水浸水想定区域図の作成 樋門・樋管維持管理事業
		(2) 施設の耐震化・耐水化 ※「施設の耐震化」から名称変更	仁井田浄水場等整備事業 配水管整備事業 配水幹線整備事業 送配水施設整備事業 下水道管渠改築・更新事業 汚水ポンプ場等改築・更新事業
		(3) 施設機能の維持向上	浄水場等整備事業 配水ポンプ場等設備更新事業 水管橋等維持管理業務 減圧弁等維持管理業務 受託工事関連事業 上下水道統合型GIS維持管理業務 上下水道統合型GISデータ更新業務 下水道管渠改良事業 汚水ポンプ場等維持管理業務 マンホールポンプ施設更新事業
		(4) 供給システムの強化	流量・水圧遠隔監視システム整備事業
(5) 危機管理の充実		危機管理要領等の改訂 災害訓練の実施	
4 お客さまサービスの向上	(1) お客さまとの双方向性の確保	上下水道事業に関する情報提供の充実 アウトリーチ手法によるお客さまニーズの把握	
	(2) 利便性の向上	多様な支払い方法の検討 行政手続きのオンライン化	
5 経営基盤の強化	(1) 事業運営の効率化	お客様センター所管業務の包括的民間委託 下水道管渠維持管理業務の包括的民間委託 下水道施設維持管理業務の包括的民間委託 配水ポンプ場の廃止 農業集落排水処理施設の再編	
	(2) 財政基盤の強化	アセットマネジメントの運用 ストックマネジメントの運用 適正な債権管理と未収金の解消 料金・使用料改定の検討	
	(3) 組織体制の見直しと技術の継承	組織体制の見直し 資格取得支援制度等の拡充 体系的な職員研修の実施	
	(4) DXによる業務の効率化 ※新規に追加	施設点検へのドローンの活用 衛星画像解析による漏水探知業務 マンホールポンプ遠隔監視システムの構築 水道スマートメーターの導入の検討 流量・水圧遠隔監視システムの整備【再掲】	
6 環境への配慮	(1) 有効率・有収率の向上	漏水防止業務 不明水対策事業	
	(2) 環境負荷の低減	低排出ガス車への計画的な車両更新 浄水発生土の利活用 仁井田浄水場等整備事業【再掲】	

青：水道事業関連 緑：下水道事業関連 赤：上下水道事業共通

6 進行管理

- ・ 経営の基本方針ごとに定めた目標の達成に向け、直近5年間で実施する事業について、より詳細な事業計画を定めた「実施計画」を毎年度策定し、P D C A サイクルにより、適切に進捗状況を管理する。
- ・ 上下水道事業を取り巻く環境に大きな変化が生じた場合は、計画期間にこだわることなく改定する。



【進行管理のイメージ】